

映画にないストーリーも収録！

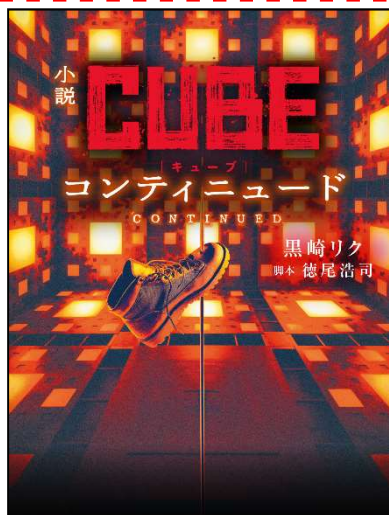
宝島社 新刊情報

2021年10月4日

10/22公開
菅田将暉主演

世界的な大ヒット映画の小説版

『小説CUBE コンティニュード』10/6発売！



宝島社文庫『小説CUBE コンティニュード』
著者：黒崎リク
脚本：徳尾浩司
発売日：2021年10月6日（水）
定価：770円（税込）

世界的な大ヒット映画『CUBE』の日本版リメイク
映画『CUBE 一度入ったら、最後』が、
菅田将暉ら豪華キャストで10月22日から全国公開！

本書では、映画冒頭の「最初の男」が死ぬまでに何があったのか、CUBEで目を覚まし脱出を目指す姿が描かれます。
映画につながるストーリー（もうひとつの脱出劇）として、新しい『CUBE』の世界をお楽しみください。

（あらすじ）

眠りから覚めて目に入ったのは、無機質で冷たい部屋だった——。
年齢も素性もバラバラな6人の男女が閉じ込められたのは、
少しでも気を抜けば「死」に直結する
トラップが仕掛けられた<謎の立方体・CUBE>。
なぜ彼らは閉じ込められたのか？
一人の犠牲者が出たことで、かりそめの協力関係は崩壊を迎え……。
映画『CUBE 一度入ったら、最後』につながる、もうひとつの物語。

『CUBE 一度入ったら、最後』あらすじ

目が覚めるとそこは謎の立方体=CUBEの中だった—

突然閉じ込められた男女6人。エンジニア、団体職員、フリーター、中学生、整備士、会社役員。彼らには何の接点もつながりもない。理由もわからないまま、脱出を試みる彼らを、熱感知式レーザー、ワイヤースライサーや火炎噴射など、殺人的なトラップが次々と襲う。仕掛けられた暗号を解明しなくては、そこから抜け出すことは絶対にできない。体力と精神力の限界、極度の緊張と不安、そして徐々に表れていく人間の本性……。恐怖と不信感のなか、終わりが見えない道のりを、それでも「生きる」ためにひたすら進んでいく。果たして彼らは無事に脱出することができるのか!?

『CUBE 一度入ったら、最後』

2021年10月22日（金）より全国松竹系にてロードショー

- 原案：ヴィンチェンソ・ナタリ「CUBE」
- 出演：菅田将暉 杏 岡田将生 柄本時生 田代輝 山時聡真・斎藤工 / 吉田鋼太郎 ほか
- 監督：清水康彦
- コンセプトデザイン：カイル・クーパー
- クリエイティブアドバイザー：ヴィンチェンソ・ナタリ
- 製作：「CUBE」製作委員会
- 企画・配給：松竹株式会社
- 公式サイト：<https://movies.shochiku.co.jp/cube/>
- 公式Twitter：@cube_m0vie
- 公式TikTok：@cube_m0vie
- 公開：2021年10月22日（金）
- ©2021「CUBE」製作委員会